

新潟県の財政状況

平成25年10月



新 潟 県

目次

〔健全な財政運営維持の取組みについて〕

健全な財政運営を維持するための取組み実績	… 1
健全な財政運営を維持するための取組み方針	… 2
健全な財政運営を維持するための具体的な取組み内容	… 3

〔新潟県の財政状況について〕

一般会計決算額の推移	… 4
一般会計歳入決算(平成24年度)の状況	… 5
一般会計歳出決算(平成24年度)の状況	… 6
特別会計決算(平成24年度)の状況	… 7
公営企業会計決算(平成24年度)の状況	… 8
公営企業会計決算財務諸表(平成24年度)の状況	… 9
平成24年度普通会計決算	… 10
健全化判断比率等の状況	… 11
基金の状況	… 12
債務負担行為の状況	… 13
新潟県の外郭団体の経営状況	… 14
新潟県の地方公社の状況	… 15
新潟県の出資法人の見直し状況	… 16

新地方公会計制度による財務諸表①	… 17
新地方公会計制度による財務諸表②	… 18
新地方公会計制度による財務諸表③	… 19
平成25年度一般会計当初予算	… 20
平成16年7月新潟豪雨災害及び 新潟県中越大震災に伴う県財政への影響	… 21
新潟県中越沖地震に伴う県財政への影響	… 22
平成23年7月新潟・福島豪雨災害に伴う県 財政への影響	… 23

〔新潟県債について〕

公債費の推移	… 24
県債残高の推移	… 25
市場公募債の発行実績・計画	… 26
新潟県債の安全性	… 27

注)各数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計等において一致しない場合があります。

健全な財政運営を維持するための取り組み実績

1 「財政健全化計画」の概要(平成11年11月策定)

「財政健全化期間(平成11年度～16年度)内に中期的な財政収支の均衡を図る」

計画目標

- 基金からの取り崩しを前提としない財政運営(財政収支の均衡)の確保
- 人件費の縮減(定員適正化計画(H12～H16)に基づく縮減
- 各種の歳入確保・歳出抑制対策

2 「財政健全化プログラム」(対象期間:平成14年度～平成16年度)の概要

「平成16年度までの間に達成すべき具体的目標を設定し、計画的に対策を進める」

計画目標

- 公債費のうち実償還額の増加(約300億円程度)に見合う歳出の削減の実施
- 義務的経費の削減、投資的経費の段階的削減等の政策的経費見直し
- 収支不足の解消に向け、地方税財政制度の抜本的な改革の早期実現のための国への要請を実施

3 「新潟県財政運営計画」の概要(平成18年度～平成34年度)

「平成18年度～34年度において、3つのプログラムを柱とした必要な施策を実施する。」

計画目標

- 県経済を発展させ、税源の涵養を図る。
- 「選択と集中」により効率的・効果的な行政を推進する。
- 県独自の「新成長プロジェクト」の推進などによる歳入確保策を講じる。

健全な財政運営を維持するための取組み方針

1 新潟県財政運営計画(H23～H34)による中・長期財政収支見通し(H25.2策定)

(単位: 億円)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
歳入(a)	12,224	13,425	12,558	15,476	12,346	12,522	12,579	12,576	13,145	13,217	13,530	14,143
歳出(b)	12,224	13,425	12,558	15,474	12,344	12,519	12,577	12,575	13,143	13,215	13,528	14,140
実質収支(a-b)	0	0	0	2	2	3	2	1	2	2	2	3

※数値は各年度当初予算ベースで策定

2 新潟県財政運営計画における財政収支改善見込みについて

- 実質収支については、H34まで黒字基調を維持。
- 歳出におけるH26年度以降については、仮に一般行政経費のみの削減で対応した場合を試算。実際には、人件費及び投資的経費等を組み合わせた中で予算案を編成。
- H25年度においては、可能な範囲で資金手当債を活用しながら、財源対策的基金取崩しを最小限に抑制

健全な財政運営を維持するための具体的な取組み内容

■ 収支改善にかかる主な個別取組事項とその状況

①定員適正化計画に基づく定員削減による人件費の抑制を平成12年度～16年度(旧)及び平成17年度～21年度(新)にわたって行い、計画的な定数削減による人員の適正化と歳出抑制を図ってきました。

◆定員適正化計画 実施状況(旧)

●知事部局の削減実績は168.3%となり、計画を大幅に上回りました。

部局	削減計画 (5年間計)	削減実績					合計
		H11→H12	H12→H13	H13→H14	H14→H15	H15→H16	
知事部局	230人	▲86人	▲60人	▲75人	▲66人	▲100人	▲387人
教育委員会	800人程度	▲234人	▲141人	▲176人	▲209人	▲298人	▲1,058人
企業・病院局	随時削減	▲30人	▲22人	▲1人	▲8人	▲19人	▲80人
合 計	—	▲350人	▲223人	▲252人	▲283人	▲417人	▲1,525人

●定員適正化計画終了後も、定数削減による人員適正化は継続実施

◆定員適正化計画 実施状況(新)

●知事部局の削減実績は133.3%となり、計画を大幅に上回りました。

部局	削減計画 (5年間計)	削減実績					合計
		H16→H17	H17→H18	H18→H19	H19→H20	H20→H21	
知事部局	600人	▲20人	▲148人	▲220人	▲152人	▲260人	▲800人
教育委員会	800人程度	▲97人	▲283人	▲258人	▲123人	▲57人	▲818人
企業・病院局	随時削減	▲21人	▲30人	11人	8人	7人	▲25人
合 計	—	▲138人	▲461人	▲467人	▲267人	▲310人	▲1,643人

削減実績(参考)	
H21→H22	合計
▲235人	▲1,035人
▲112人	▲930人
10人	▲15人
▲337人	▲1,980人

②定数削減、給与の適正化等により、人件費を削減し歳出の抑制を図っています。

(普通会計 単位:億円、%)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25(予算)
人件費	3,099 (▲1.7)	3,094 (▲0.2)	3,101 (0.2)	3,022 (▲2.5)	2,920 (▲3.4)	2,827 (▲3.2)	2,825 (▲0.1)	2,820 (▲0.2)	2,803 (▲0.6)
うち職員給	2,355 (▲0.7)	2,332 (▲1.0)	2,308 (▲1.0)	2,251 (▲2.5)	2,151 (▲4.4)	2,066 (▲4.0)	2,047 (▲1.0)	2,041 (▲0.3)	2,036 (▲0.2)

③投資事業については、重点化等により効果的・効率的に事業を実施しています。

(普通会計 単位:億円、%)

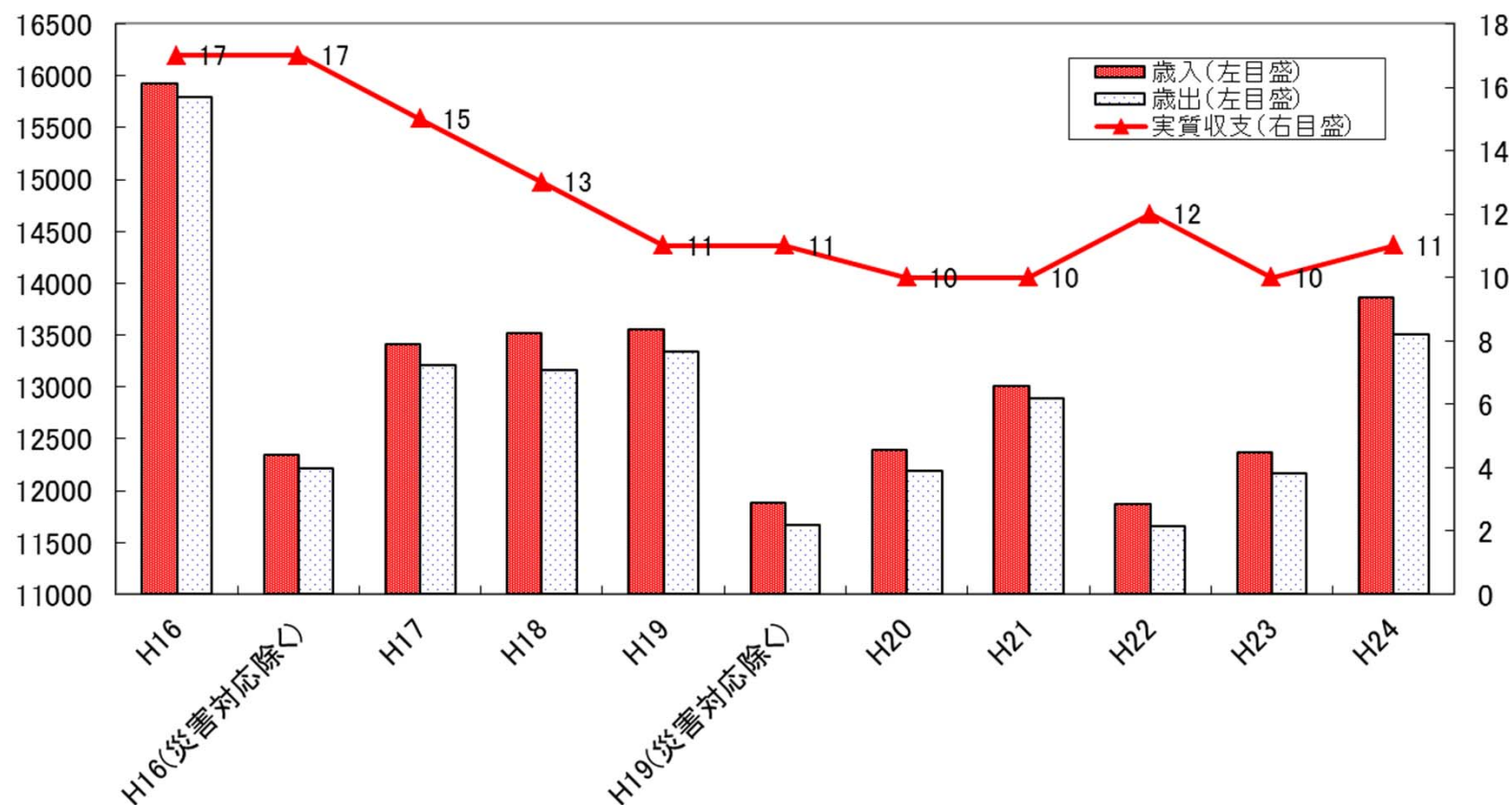
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25(予算)
普通建設事業費	2,938 (▲1.0)	2,867 (▲2.4)	2,438 (▲15.0)	2,270 (▲6.9)	2,245 (▲1.1)	1,893 (▲15.7)	1,915 (1.2)	1,939 (1.3)	1,730 (▲10.8)
災害復旧事業費	719 (143.7)	738 (2.6)	163 (▲77.9)	202 (23.9)	45 (▲77.2)	32 (▲28.9)	206 (543.8)	336 (63.1)	63 (▲81.3)
投資的経費合計	3,657 (12.0)	3,605 (▲1.4)	2,601 (▲27.9)	2,472 (▲5.0)	2,290 (▲7.4)	1,925 (▲15.9)	2,121 (10.2)	2,275 (7.3)	1,793 (▲21.2)

※()内は、対前年比増減比率。

一般会計決算額の推移

(単位:億円)

(単位:億円)



○形式収支＝歳入－歳出

○実質収支＝形式収支－翌年繰り越すべき財源

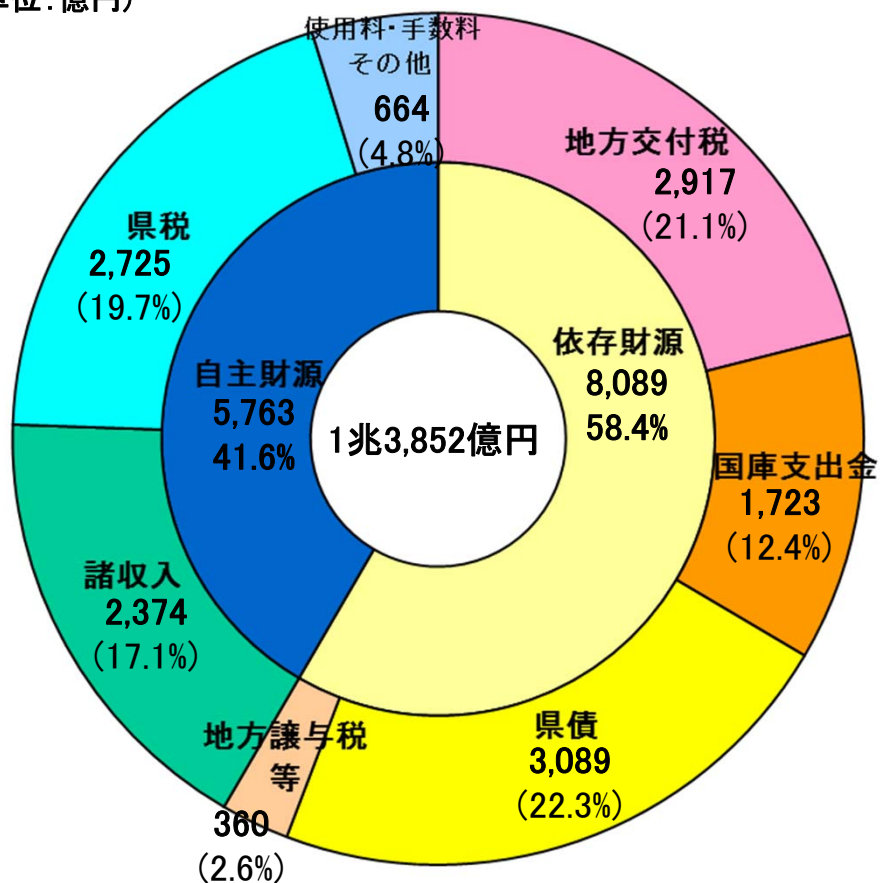
※H16年度においては水害・震災復旧等の対応により、決算額が大幅増加となった。

(増額分3,581億円、うち震災復興基金関連3,050億円)

※H19年度においては中越沖地震の対応により決算額が大幅増加となった。(増額分1,668億円、うち中越沖地震復興基金関連1,310億円)

一般会計歳入決算(平成24年度)の状況

(単位: 億円)



自主財源

平成23年度: 4,808億円(38.9%)

平成24年度: 5,763 億円(41.6%)

中越沖地震復興基金貸付金の償還により諸収入が倍増したため、自主財源の割合は昨年度に比べ2.7%増加。

県債

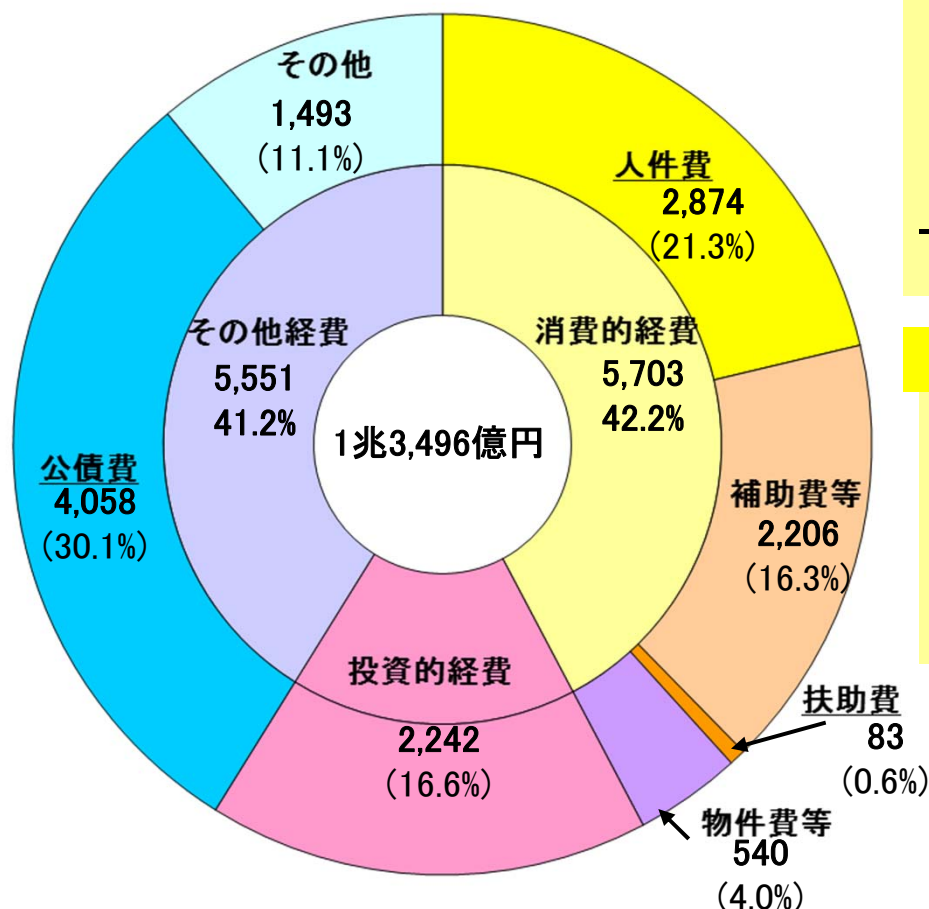
平成23年度: 2,607億円 (21.1%)

平成24年度: 3,089億円 (22.3%)

借換債等が増加したため、発行額が増加。

一般会計歳出決算(平成24年度)の状況

(単位:億円)



義務的経費の状況

※グラフ中下線の項目

〔平成23年度〕

・人件費: 2,891億円
・扶助費: 95億円
・公債費: 2,688億円

合 計 5,674億円

〔平成24年度〕 ()内前年度比

・人件費: 2,874億円 (▲ 0.6%)
・扶助費: 83億円 (▲ 12.9%)
・公債費: 4,058億円 (51.0%)

合 計 7,015億円 (23.6%)

投資的経費の状況

〔平成23年度〕

・普通建設: 1,887億円
・災害復旧: 149億円

合 計 2,036億円

〔平成24年度〕 ()内前年度比

・普通建設: 1,917億円 (1.6%)
・災害復旧: 325億円 (117.7%)

合 計 2,242億円 (10.1%)

注) 公債費には県債管理特別会計繰出分(元金・利子)を含む

特別会計決算(平成24年度)の状況

(単位:百万円)

会 計 名	歳入	歳出	差引	会 計 の 概 要
県債管理	133,007	133,007	0	市場公募債に係る公債費を管理
地域づくり資金貸付事業	4,567	1,675	2,892	地域の持つ個性・特性を活かし市町村が行う「地域づくり事業」に対する貸付
災害救助事業	2,583	2,579	4	災害弔慰金等の支給や災害援護資金の貸付
母子寡婦福祉資金貸付事業	399	364	35	母子家庭及び寡婦に対する修学資金、事業資金などの貸付
心身障害児・者総合施設事業	8	8	0	心身障害児・者総合施設(コロニー白岩の里)の運営・管理
中小企業支援資金貸付事業	35,729	33,145	2,584	中小企業者の設備の近代化並びに事業の共同化等、企業構造の高度化のための貸付
林業振興資金貸付事業	398	122	276	林業生産高度化資金などの貸付
沿岸漁業改善資金貸付事業	296	16	280	経営等改善資金等の貸付
県有林事業	124	115	9	「県有林」「県行造林」の造林、保育、伐採などの実施
都市開発資金事業	939	939	0	都市計画地域内の用地買収
流域下水道事業	12,653	11,891	762	下水道施設の建設、管理
港湾整備事業	3,782	3,666	116	新潟港や直江津港の埋立事業
合 計	194,485	187,527	6,958	

公営企業会計決算(平成24年度)の状況

(単位:百万円)

		電気事業	工業用水道事業	工業用地造成事業	病院事業	新潟県魚沼基幹病院事業	新潟東港臨海用地造成事業
収益的収支	収入	4,434	1,550	1,775	76,022	35	94
	支出	4,250	2,032	328	75,847	35	57
	収支差	184	▲ 482	1,447	175	0	37
資本的収支	収入	539	761	1	4,611	1,366	0
	企業債	0	625	0	4,567	1,103	0
	支出	2,322	1,625	1,453	9,972	1,361	0
	企業債償還金	1,337	258	944	7,447	0	0
	収支差	▲ 1,783	▲ 864	▲ 1,452	▲ 5,361	5	0

公営企業会計決算財務諸表(平成24年度)の状況

(単位:百万円)

			電気事業	工業用水道事業	工業用地造成事業	病院事業	新潟県魚沼基幹病院事業	新潟東港臨海用地造成事業
貸借対照表	資産の部	資産合計	50,210	26,398	18,162	75,715	3,042	3,268
		流動資産	4,475	1,806	17,294	11,928	1,377	3,266
		固定資産	45,735	24,592	868	61,624	1,665	2
		繰延資産	0	0	0	2,163	0	0
	負債の部	負債合計	851	1,081	28,323	9,625	1,363	1,878
		流動負債	197	339	20,505	8,180	1,363	1,877
		固定負債	654	742	7,818	1,445	0	1
	資本の部	資本合計	49,359	25,317	▲ 10,161	66,090	1,679	1,390
		資本金	43,323	12,041	41	82,084	1,399	848
		自己資本金	25,596	9,625	5	26,829	0	848
		借入資本金	17,727	2,416	36	55,255	1,399	0
		剰余金	6,036	13,277	▲ 10,202	▲ 15,994	280	542
損益計算書	営業収支	営業収益	4,344	1,508	186	62,784	0	92
		営業費用	3,744	1,974	254	71,124	0	57
	営業損益		600	▲ 466	▲ 68	▲ 8,340	0	35
	営業外収支	営業外収益	26	42	1,589	12,498	35	2
		営業外費用	506	49	74	2,382	35	0
	経常損益		120	▲ 473	1,447	1,776	0	37
	特別収支	特別利益	64	0	0	740	0	0
		特別費用	0	9	0	2,341	0	0
	当年度純損益		184	▲ 482	1,447	175	0	37

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

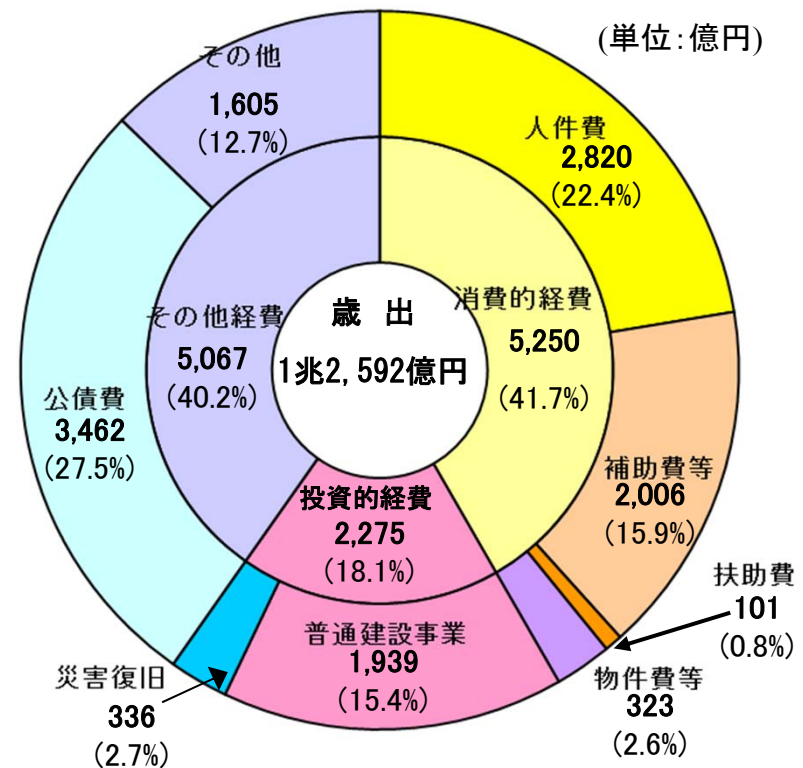
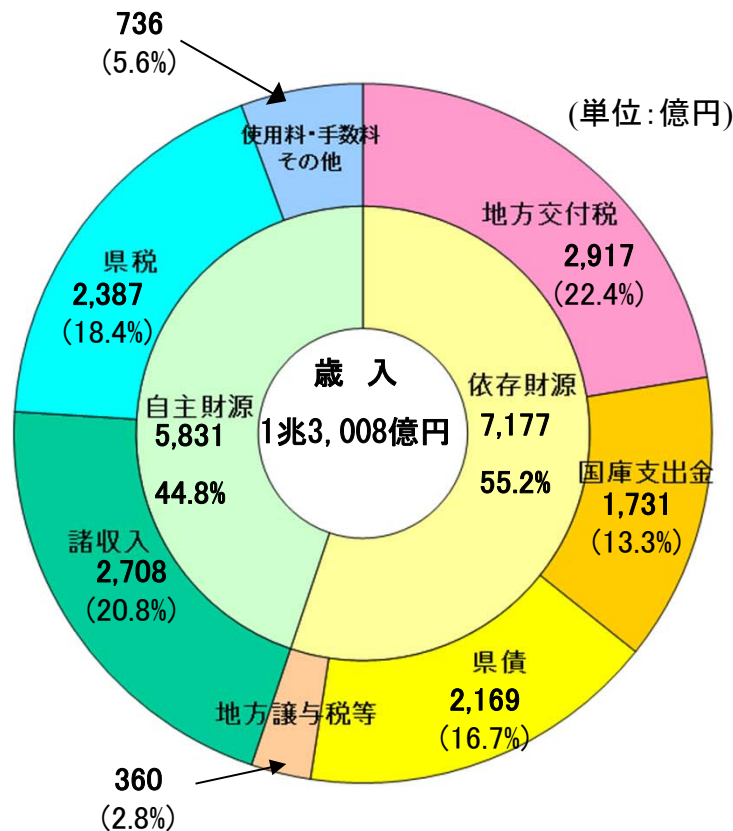
平成24年度普通会計決算

決算フレーム

◎決算総額 1兆2,592億円(対23年度比 +13.2%、1,467億円の増加)

◎投資的経費 普通建設事業費 1,939億円(対23年度比+1.3%)、災害復旧事業費336億円(対23年度比+62.9%)

◎人件費 2,820億円(対23年度比▲0.2%)



健全化判断比率等の状況

・地方公共団体財政健全化法に基づく平成24年度決算に係る健全化判断比率については、実質公債費比率及び将来負担比率が全国平均よりも若干高い数値となっておりますが、法に規定する早期健全化基準及び財政再生基準のいずれにも該当していません。また、資金不足比率については、工業用地造成事業において資金不足が生じていますが、経営健全化基準に該当していません。

健全化判断比率（平成24年度）

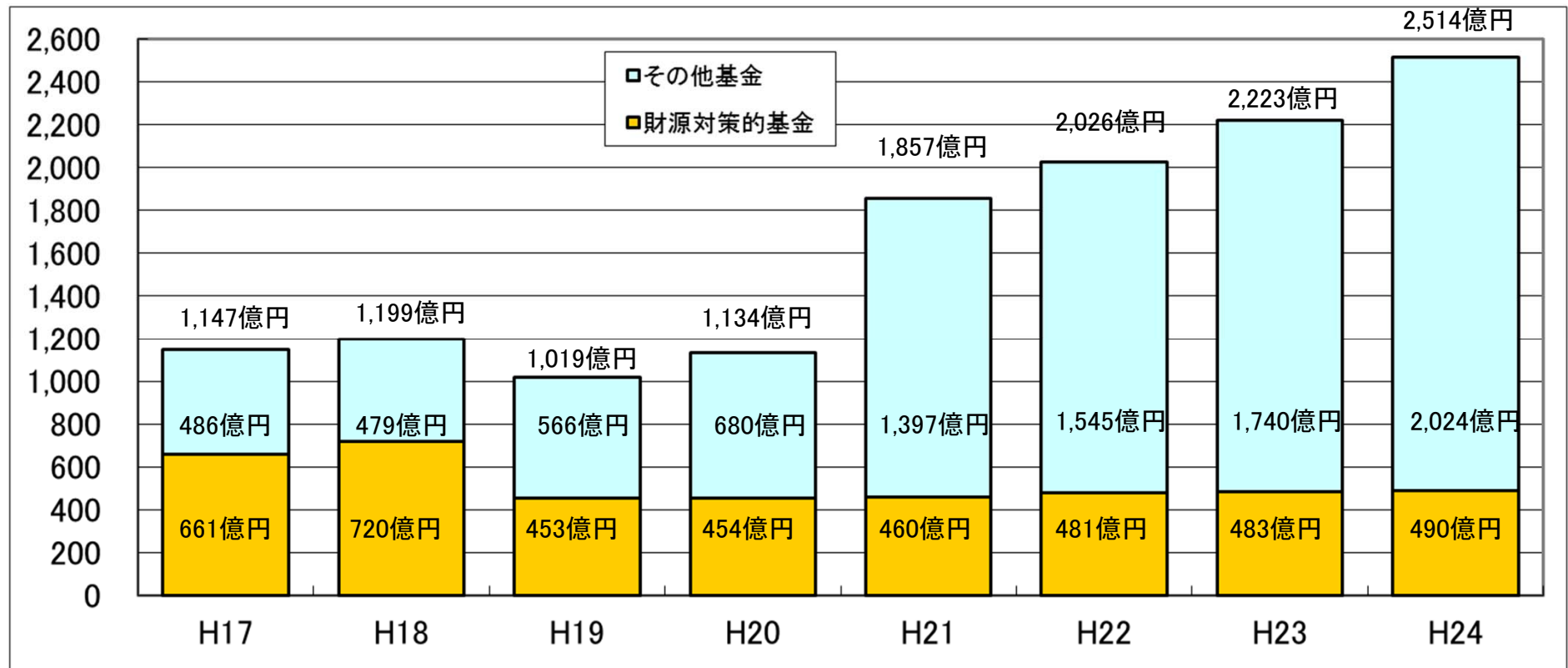
	本 県	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率（％）	—	3.75%	5.00%
連結実質赤字比率（％）	—	8.75%	15.00%
実質公債費比率（％）	17.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率（％）	284.9%	400.0%	—

資金不足比率（平成24年度）

流域下水道事業	港湾整備事業	電気事業	工業用水道事業	工業用地造成事業	東港用地造成事業	病院事業	魚沼基幹病院事業
—	—	—	—	17.6%	—	—	—

基金の状況

基金残高の推移



※財源対策的基金

- ・ 財政調整基金や県債管理基金の一部のほか、特目基金のうちの社会文化施設等整備基金や地域振興基金等、財源対策として充当可能な基金を財源対策的基金として整理しています。

債務負担行為の状況

(単位:百万円)

債務負担行為の区分	債務負担行為限度額			翌年度以降支出予定額		
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
物件の購入等に係るもの	59,787	71,456	64,899	30,224	49,029	37,685
債務保証又は損失補償に係るもの	9,808,439	11,279,714	12,720,241	※債務保証・損失補償の履行実績は無く、翌年度以降の支出予定はありません。		
うち共同発行債に係るもの	9,722,000	11,198,000	11,830,000			
その他	106,981	104,972	103,507	61,070	59,350	51,169
合 計	9,975,207	11,456,142	12,888,647	91,294	108,379	88,854

◎H15年度より発行している共同発行市場公募債の各県発行額に対する相互債務負担行為が発生していることから債務保証又は損失補償に係わる債務負担行為は増加傾向にあります。

◎実際に支出となる予定額は、「翌年度以降支出予定額」となります。

新潟県の外郭団体の経営状況(平成24年度)

(単位:千円)

		法人資本総額	県出資額	県出資割合	資産計	負債計	正味財産・資本	経常収益	経常費用	当期損益
民	(公財)新潟県文化振興財団	2,010,000	2,010,000	100.0%	2,340,578	48,783	2,291,795	253,350	251,973	2,041
	(公財)新潟県国際交流協会	1,398,400	1,190,900	85.2%	1,808,361	2,572	1,805,789	74,269	96,697	▲ 21,814
	(公財)環日本海経済研究所	3,609,036	3,000,000	83.1%	3,716,078	55,897	3,660,181	233,140	222,010	16,947
	(公財)新潟県女性財団	115,727	99,229	85.7%	136,558	11,154	125,404	36,714	36,313	401
	(一財)新潟県地域医療推進機構	50,000	40,000	80.0%	66,426	16,239	50,187	25,487	25,343	143
法	(公財)にいがた産業創造機構	258,972	258,972	100.0%	19,095,036	12,764,005	6,331,031	3,863,004	3,858,458	2,113
	(公財)柏崎原子力広報センター	200,000	150,000	75.0%	207,362	2,421	204,941	38,168	37,222	946
	(公社)新潟県農作物価格安定協会	818,660	794,360	97.0%	1,973,726	1,124,589	849,137	119,251	118,960	291
	(公社)新潟県水産振興協会	2,345,703	2,175,503	92.7%	2,393,518	61,832	2,331,686	123,017	133,419	▲ 8,544
	(公社)新潟県農林公社	329,100	312,700	95.0%	34,260,187	31,800,634	2,459,553	907,714	1,104,509	103,716
法	(公財)新潟県下水道公社	69,600	34,800	50.0%	867,486	722,362	145,124	3,122,573	3,131,572	▲ 8,999
	(財)新潟県建設技術センター	3,000	3,000	100.0%	2,786,499	522,567	2,263,932	2,202,982	2,017,282	121,593
	(公財)新潟県都市緑花センター	587,322	402,500	68.5%	986,101	289,227	696,874	984,793	1,004,032	▲ 18,385
	(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団	30,000	30,000	100.0%	102,537	71,260	31,277	601,467	601,576	▲ 109
	(公財)新潟県体育協会	26,900	15,000	55.8%	618,114	65,384	552,730	461,946	460,682	1,194
人	(公財)新潟県暴力追放運動推進センター	502,600	450,000	89.5%	554,765	568	554,197	27,659	27,482	177
	(公財)新潟県中越大震災復興基金	5,000,000	5,000,000	100.0%	306,622,235	307,935,834	▲ 1,313,599	6,186,725	2,226,112	3,960,543
	(財)新潟県中越沖地震復興基金	3,000,000	3,000,000	100.0%	164,237,284	160,015,370	4,221,914	2,437,307	260,533	2,176,704
	(公)新潟県立大学	3,462,596	3,462,596	100.0%	4,366,127	852,434	3,513,693	1,523,266	1,453,271	67,439
	北越急行(株)	4,568,000	2,505,000	54.8%	14,648,277	853,228	13,795,049	5,095,412	3,254,706	1,129,250
商 法	えちごトキめき鉄道(株)	163,000	120,000	73.6%	777,577	625,064	152,513	523	6,089	▲ 6,182
	新潟木材倉庫(株)	20,000	10,000	50.0%	85,953	6,874	79,079	52,260	46,354	5,096
	(株)新潟ふるさと村	1,020,856	810,856	79.4%	1,062,189	1,031,784	30,405	1,042,159	1,042,577	548

※上記外郭団体は、地方自治法施行令に定める調査の対象のうち、下記の範囲の法人を抽出した。
 ①県が資本金等の2分の1以上を出資している民法第34条の法人、株式会社(以下、法人等という)
 ②県が設立した公社又は①に掲げる法人が合わせて資本金等の2分の1以上を出資している法人等
 ③県がその者のために資本金等の2分の1に相当する額以上の額の債務を負担している法人等

新潟県の地方公社の状況

(単位：百万円)

区 分			新潟県土地開発公社		新潟県住宅供給公社	
			2 3 年度	2 4 年度	2 3 年度	2 4 年度
出資状況	出資団体数		1	1	7	7
	出資金額	本県出資額	30	30	50	50
		その他団体出資額			1	1
		出資額合計	30	30	51	51
貸借対照表	資産	流動資産	3, 876	988	553	469
		固定資産	1, 451	1, 052	4, 652	4, 406
		資産合計	5, 327	2, 040	5, 205	4, 875
	負債	流動負債	3, 160	643	1, 382	1, 262
		固定負債	549		2, 898	2, 650
		特定準備金				
		負債合計	3, 709	643	4, 280	3, 912
	資本	資本金	30	30	51	51
		準備金	1, 588	1, 367	874	912
		資本合計	1, 618	1, 397	925	963
	負債・資本合計		5, 327	2, 040	5, 205	4, 875
	損益計算書	経常損益	営業収益	319	3, 222	624
営業費用			426	3, 374	521	541
一般管理費			49	74	43	39
営業利益			▲ 156	▲ 226	60	72
営業外利益			21	13	2	1
営業外費用			11	7	41	34
経常利益			▲ 146	▲ 221	21	39
特別利益		38				
特別損失				4	1	
特定準備金取崩						
特定準備金繰入						
当期利益		▲ 108	▲ 221	17	38	

※新潟県土地開発公社は平成24年11月30日に解散

新潟県の出資法人の見直しの状況

■平成22年度出資法人見直し(H22.12.27公表)の趣旨、方法について

○平成17年度の「出資法人のあり方の見直し」以降、公益法人制度改革等、出資法人に係る社会情勢が変化していることを踏まえ、県の出資比率 25%以上の法人など42法人を対象に、外部委員からなる「出資法人経営評価委員会」により、出資法人のあり方を見直し。

■平成22年度出資法人見直しの考え方について

1. 法人のあり方・県関与の見直し… 設立目的や事業内容、効率性等、現状分析により、法人の廃止、合併、県の関与の廃止・見直しを検討
2. 県支出金(補助金・委託料)の見直し… 支出金等が間接経費に費消され、本来の行政効果に発揮されないとの指摘を参考に点検評価
3. 公益法人制度改革に伴う抜本的直し… 新公益法人制度の移行形態(公益法人・一般法人)に応じた県の支援・関与の見直しを実施

■平成22年度出資法人見直しに係る評価結果の概要

1 法人のあり方・県関与の見直し	
(1)法人の解散[2法人]…業務量の減少等により法人を解散する方向で検討	(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団、新潟県土地開発公社
(2)県関与や法人業務の抜本的見直し[10法人]	
ア 役割分担を明確にし、事業縮小も含め県関与・法人事業を抜本的に見直し[4法人]	(財)新潟県文化振興財団、(財)新潟県国際交流協会、他2法人
イ 一部事業を将来的に市町村へ移管する方向で検討[1法人]	新潟県住宅供給公社
ウ 総合的農林業振興組織として法人のあり方を見直す方向で検討[3法人]	(社)新潟県農林公社、(社)新潟県農作物価格安定協会、(社)新潟県畜産協会
エ 県内経済界への関わり方について検討[1法人]	(財)環日本海経済研究所
オ 国の「行政事業レビュー」での国補助事業の廃止判定に対する対応を検討[1法人]	(財)新潟県生活衛生営業指導センター
(3)自主財源の確保[5法人]…法人事業の収益性を高める方策を検討	(財)にいがた産業創造機構、(財)新潟県女性財団、他3法人
(4)県職員の役職就任の見直し[25法人]…県職員の役員就任の縮減等を検討	(財)新潟県文化振興財団、(財)新潟県建設技術センター、他23法人
(5)県派遣職員の引き揚げ等[7法人]…県派遣職員の引き揚げを検討	(財)新潟県文化振興財団、(財)新潟県建設技術センター、他5法人
2 県支出金の見直し	
(1)随意契約の見直し[2法人]…随意契約による法人への委託を見直す方向で検討	(財)新潟県建設技術センター、(社)新潟県農林公社
(2)運営費補助の見直し[1法人]…運営費補助を見直す方向で検討	(財)環日本海経済研究所
3 公益法人制度改革に伴う抜本的見直し	
(1)基本財産の運用益収入に依存した運営の見直し[2法人] …必要な事業は県直営又は補助金等により実施し県の責任を明確にする方向で検討	(財)新潟県文化振興財団、(財)新潟県国際交流協会
(2)一般法人に移行する場合、県関与の見直し[2法人] …公益目的支出計画で県への寄付を優先し、県の関与をとりやめる方向で検討	(財)十日町地域地場産業振興センター、(財)燕三条地場産業振興センター
(3)移行形態が不明なもの[6法人] …移行形態が明らかになった段階で、公益法人制度改革に伴う抜本的見直しを実施	(財)新潟県建設技術センター、(財)新潟県都市緑化センター、(社)新潟県私学振興会 (財)新潟県建築住宅センター、(財)新潟県環境保全事業団、他1法人

新地方公会計制度による財務諸表①(平成23年度決算ベース)

■本県の新公会計制度への対応について

- ・ 分かりやすい財務情報を提供して、県民の皆様への説明責任を果たすために、複式簿記・発生主義の考え方に基づく新たな公会計制度を導入し、平成20年度決算から財務諸表を作成・公表してきました。

■本県における会計基準の主な特徴

①国際公会計基準(IPSAS)を基本として作成

- ・ IPSAS(国際公会計基準審議会において、公会計に係る世界共通基準として作成)を基本としつつ、分かりやすい財務諸表の作成に努めています。

②民間の企業会計基準と同じ目線で作成

- ・ 資産、負債の配列は流動性配列法とするなど、民間企業の財務諸表と同じ目線で作成しています。

③行政の特質に留意して作成

- ・ 県民生活に必要不可欠な社会資本である、道路・橋りょう・港湾等を「インフラ資産」として区分計上するなど、資産の状況を行政活動の実態に合わせて表示しています。
- ・ 国の一方的な決定により、発行を余儀なくされている臨時財政対策債については、後年度において元利償還金の100%が交付税措置されるものであることから、他の公債とは別立てで表記しています。また、貸借対照表では将来の基準財政需要額算入見込額を「長期未収金」に、行政コスト計算書では当該年度の臨時財政対策債発行に伴う将来の基準財政需要額算入見込額を「その他の移転収入」に計上しています。

新地方公会計制度による財務諸表②(平成23年度決算ベース)

●貸借対照表(B/S)

(単位:億円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	264	未払金及び未払費用	0
未収金	57	前受金及び前受収益	16
▲不納欠損引当金	▲ 3	引当金	
短期貸付金	1,562	賞与引当金	155
財源対策基金	483		
棚卸資産	73	公債(短期)	
		(臨時財政対策債)※	251
2. 固定資産		(臨時財政対策債以外)	3,713
事業用資産		その他の流動負債	0
有形固定資産	3,356	2. 固定負債	
建設仮勘定	5	公債(臨時財政対策債)※	3,871
無形固定資産	4	(臨時財政対策債以外)	20,161
		借入金	0
インフラ資産		引当金	
公共用財産用地	2,098	退職給付引当金	3,018
公共用財産施設	31,687	損失補償等引当金	12
公共用財産建設仮勘定	9	その他の固定負債	
投資その他の資産			
有価証券	91	負 債 合 計	31,196
出資金	870	【純資産の部】	
貸付金	3,470	純資産	17,719
▲貸倒引当金	▲ 4	(うち当期増減額)	(+31)
基金・積立金	772		
長期未収金	4,121	純 資 産 合 計	17,719
資 産 合 計	48,915	負 債・純 資 産 合 計	48,915

●行政コスト計算書(P/L)

(単位:億円)

科 目	金 額
【経常収支の部】	
【経常収益】	
1. 経常業務収益	
①業務収益	
税金	2,324
その他の業務収益	183
②業務関連収益	
受取利息等	3
その他の業務関連収益	74
2. 移転収入	5,732
経常収益合計	8,316
【経常費用】	
1. 経常業務費用	
①人件費	
給与関係経費	2,659
退職給付費用	238
引当金繰入	31
②物件費	637
③維持補修費	236
④扶助費	89
⑤減価償却費	342
⑥業務関連費用	
公債費(利払分)	440
その他の業務関連費用	84
2. 移転支出	3,297
経常費用合計	8,054
経常収支差額	262
【特別収支の部】	
1. 特別収益	2
2. 特別費用	233
特別収支差額	▲ 231
当期収支差額	31

※臨時財政対策債・・・地方交付税の代替財源として発行する公債。後年度国の責任で元利償還金の100%が交付税措置されるため、その他の公債とは別立てで表記

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合がある

新地方公会計制度による財務諸表③(平成23年度決算ベース)

●キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:億円)

科 目	金 額	科 目	金 額
【経常的収支区分】		【資本的収支区分】	
1. 経常的収入		1. 資本的収入	
①租税収入	2,325	①固定資産売却収入	4
②経常業務収益収入		②長期金融資産償還収入	591
業務収益収入	183	③その他の資本処分収入	1,035
業務関連収益収入	72	2. 資本的支出	
③移転収入		①固定資産形成支出	288
他会計からの移転収入	2	②長期金融資産形成支出	491
補助金等移転収入	4,958	③その他の資本形成支出	1,035
その他の移転収入	112	資本的収支・・・b	▲ 184
2. 経常的支出		【財務的収支区分】	
①経常業務費用支出		1. 財務的収入	
人件費支出	2,897	①公債発行収入	
物件費支出	628	臨時財政対策債	754
維持補修費支出	251	臨時財政対策債以外	1,856
扶助費支出	89	②借入金収入	0
支払利息支出	440	③その他の財務的収入	6
業務関連費用支出	70	2. 財務的支出	
(財務的支出を除く)		①元本償還支出	
②移転支出		公債費(元本分)支出	
他会計への移転支出	24	臨時財政対策債	91
補助金等移転支出	2,651	臨時財政対策債以外	2,163
その他の移転支出	784	借入金元本償還支出	0
経常的収支・・・a	-182	その他の元本償還支出	6
		財務的収支・・・c	356
		当期資金収支額・・・(a+b+c)	▲ 11
		期首資金残高	275
		期末資金残高	264

- 経常的収支区分・・・計上活動に伴い発生する資金収支の状況を計上
- 資本的収支区分・・・固定資産やその他投資等、資本形成活動に発生する資金収支の状況を計上
- 財務的収支区分・・・外部からの資金調達・償還に伴い、発生する資金収支の状況を計上

●純資産変動計算書(N/W)

(単位:億円)

科 目	金 額
前期末残高	17,741.4
当期変動額	▲ 21.7
1 評価・換算差額等の変動	▲ 0.7
①評価・換算差額等の増加	
資産再評価益	0.0
有価証券評価差額金	1.7
②評価・換算差額等の減少	
資産再評価損	▲ 1.9
有価証券評価差額金	▲ 0.5
2 その他の純資産変動	▲ 52.4
①開始時未分析残高の増減	0.0
②その他純資産の変動	
その他純資産の増加	1.4
その他純資産の減少	▲ 53.8
3 当期収支差額	31.4
当期末残高	17,719.7

○純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部の変動状況を示したものであり、純資産がどのような要因で増減したかを明らかにするもの。

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合がある

平成25年度一般会計当初予算

予算フレーム

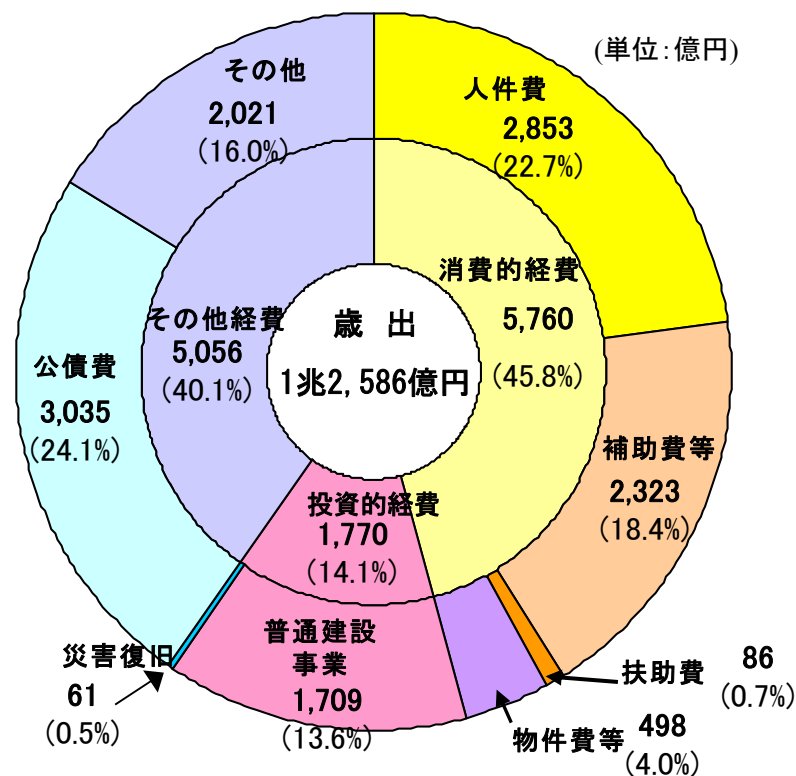
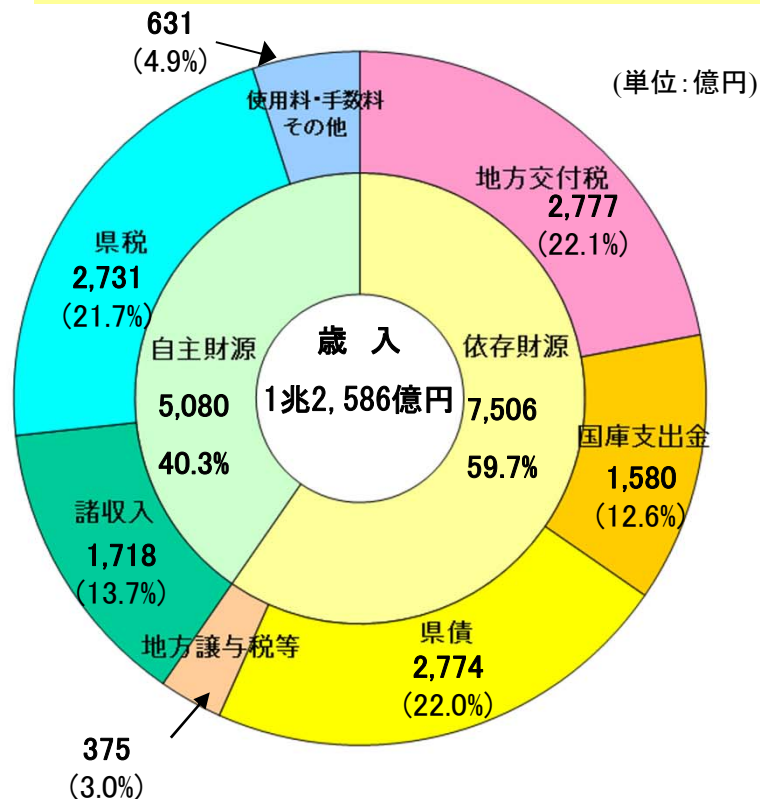
◎予算総額 1兆2,586億円(対24年度比▲6.2%、▲839億円の減)

※H24中越沖地震復興基金償還1,200億円除く予算規模比較(H24当初1兆2,225億円)→3.0%、361億円増

◎投資的経費 普通建設事業費 1,709億円(対24年度比 4.1%)

災害復旧事業費 61億円(対24年度比 ▲50.2%)

◎人件費 2,853億円(対24年度比 ▲0.9%)



平成16年7月新潟豪雨災害及び 新潟県中越大震災に伴う県財政への影響

- ・ H16～H25年度(9月補正予算ベース)において国庫補助金・交付税措置等の国による手厚い助成があり、県財政への影響は最小限にとどまっています。

7.13新潟豪雨災害復旧関連

事業費計 1,718億円

内、財源

国庫補助等	1,133億円
県債発行	482億円
一般財源	103億円

+

新潟県中越大震災復旧関連

事業費計 3,029億円※1

内、財源

国庫補助等	2,286億円
県債発行	454億円
一般財源	289億円

=

災害復旧関連事業計

事業費計 4,747億円

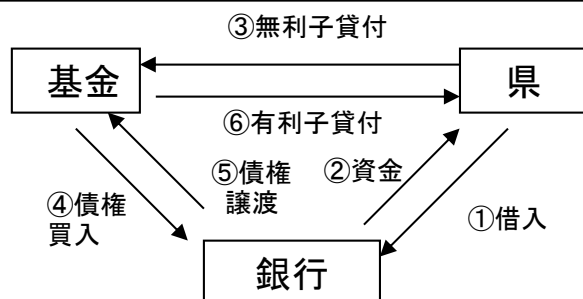
内、財源

国庫補助等	3,419億円 (72.0%)
県債発行※2	936億円 (19.7%)
一般財源	392億円 (8.3%)

※1 震災復興基金造成関連分3,050億円除く

※2 災害復旧事業に係る県債についての元利償還金に対する95%の交付税措置や、災害規模に応じた特別交付税の配分などの手厚い地方財政措置により、県の実質的負担は低く抑えられています。

◎震災復興基金造成について:指名債権譲渡方式



・基金造成分については償還期日到来時、基金と県との債務相殺により、完済となります。(左記図③と⑥)によって、償還時の資金負担はありません。

・県→基金への支払利子(=基金運用益)についてはその5/6×95%(79.2%)が交付税措置されることとなっており、復興基金による復旧事業への県負担分は実質2割程度に抑えられています。

新潟県中越沖地震に伴う県財政への影響

・H19～H25年度(9月補正予算ベース)において、国庫補助金・交付税措置等の国による手厚い助成があり、県財政への影響は最小限にとどまっています。

新潟県中越沖地震災害復旧関連事業

事業費計 1,199億円

国庫補助等	915億円 (76.3%)
県債発行	104億円 (8.7%)
一般財源	180億円 (15.0%)

※中越沖地震復興基金関連分1,630億円除く

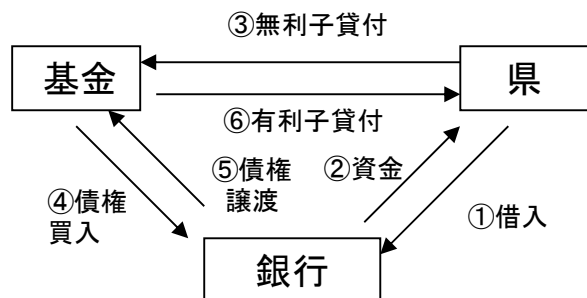
◎復興基金造成について

○基金規模 1,600億円 (他に財団設立の出えん金30億円)

○運用期間 H24年度まで(5年間)

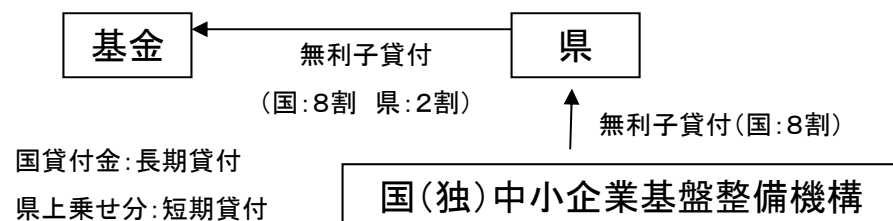
区 分	基金規模	支援対象分野
中越沖地震復興基金	1,200億円	住宅、生活観光等
中越沖地震被災中小企業復興支援基金	400億円	産業

◎中越沖地震復興基金:指名債権譲渡方式



- ・中越大震災復興基金と同様の仕組み
- ・県→基金への支払利子(=基金運用益)については、その2/3(66.6%)が交付税措置されることとなっています。

◎中越沖地震被災中小企業復興支援基金:無利子貸付金方式



- ・能登半島地震被災中小企業復興支援基金と同様の仕組み
- ・被災中小企業のニーズに応じたタイムリーな支援策を実施する上で有効な制度として活用

東日本大震災、長野県北部地震、及び 平成23年7月新潟・福島豪雨災害に伴う県財政への影響

・いずれの災害においても、「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」に基づく「激甚災害」の指定を受けられたこともあり、国庫補助金・交付税措置等の国による手厚い助成が見込まれ、県財政への影響は最小限にとどまるものと想定されています。

(H25年度9月補正予算ベース)

東日本大震災・長野県北部地震 災害復旧関連事業	平成23年7月新潟・福島豪雨災害 災害復旧関連事業	災害復旧関連事業合計
事業費計 355億円	事業費計 1,505億円	事業費計 1,860億円
国庫補助等 300億円 (84.5%)	国庫補助等 886億円 (58.9%)	国庫補助等 1,186億円 (63.8%)
県債発行 26億円 (7.3%)	県債発行 493億円 (32.8%)	県債発行 519億円 (27.9%)
一般財源 29億円 (8.2%)	一般財源 126億円 (8.3%)	一般財源 155億円 (8.3%)

※災害復旧事業に係る県債についての元利償還金に対する95%の交付税措置や、災害規模に応じた特別交付税の配分、激甚災害指定による国庫補助率のかさ上げなど、手厚い地方財政措置により、県の実質的負担は低く抑えられます。

◎激甚災害指定による適用措置について(抜粋)

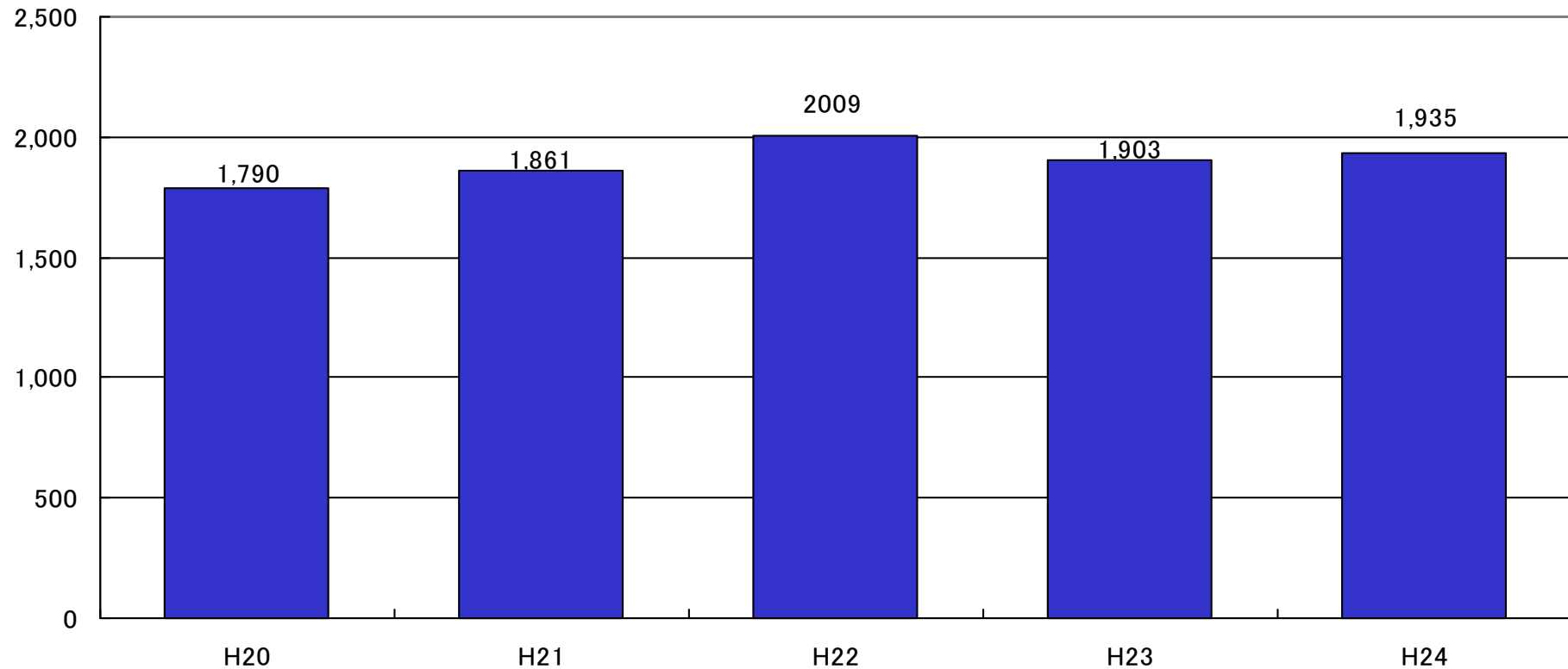
- 公共土木施設、社会福祉施設、公立学校施設等の災害復旧事業等について、通常の国庫補助のかさ上げを実施。
(公共土木施設の過去5年間の補助率かさ上げ実績 69%→82%)
- 農地、農道、水路などの農業用施設及び林道の災害復旧事業等について、通常の国庫補助のかさ上げを実施。
(農地の過去5年間の補助率かさ上げ実績 83%→92%)
- 公立社会教育施設(公民館、体育館等)に係る災害復旧事業費について、その3分の2を補助。

公債費の推移

過去の景気対策に伴い発行した補正予算債等の償還額の累増により、近年では、1,800億円から2,000億円程度の水準で推移しています。

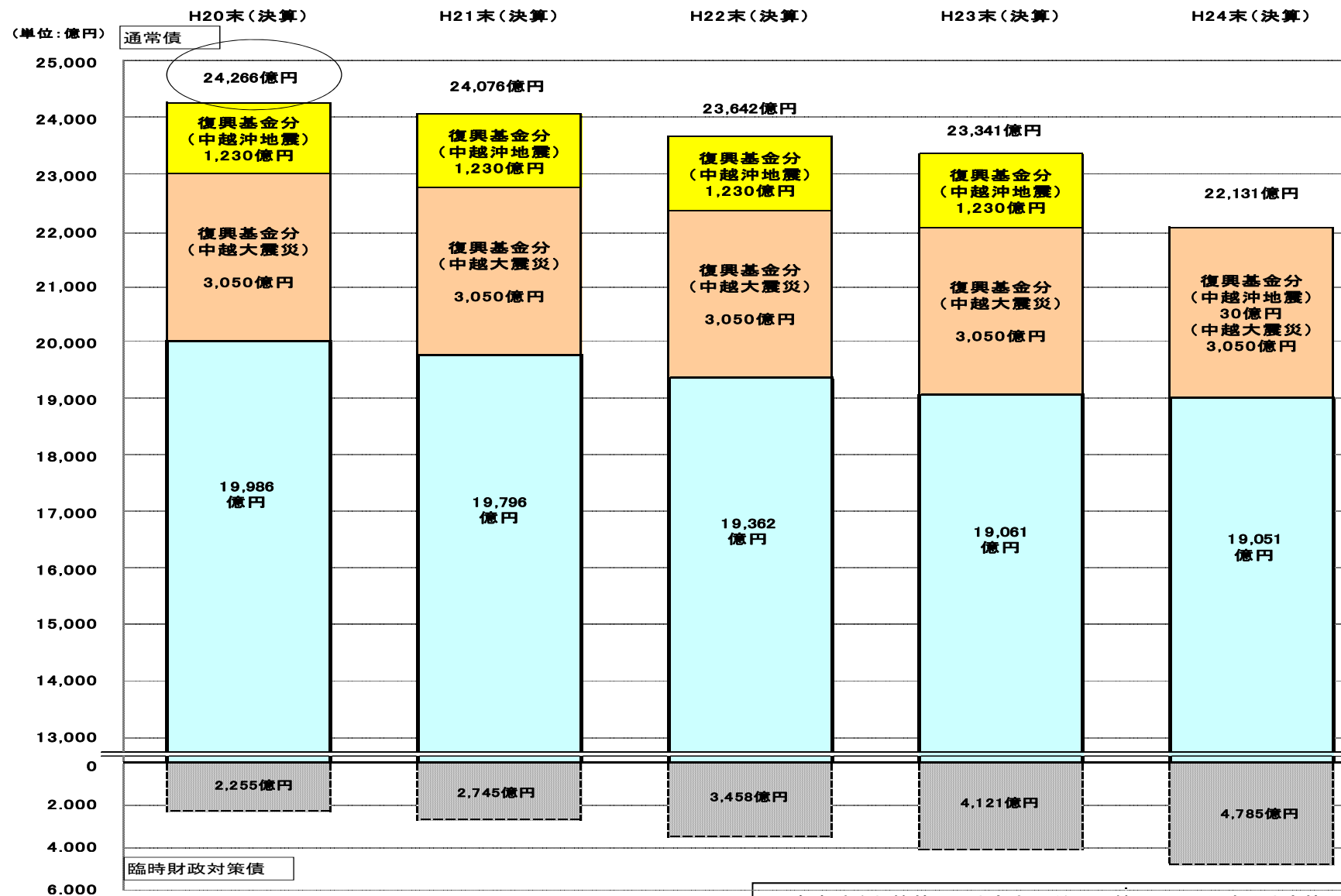
(単位: 億円)

〈一般会計〉



※借換債を除く。また、H24は中越沖地震復興基金償還金1,200億円を除く。

県債残高の推移



○臨時財政対策債は、地方交付税の代替として発行する地方債であり、毎年度の地方公共団体の発行額は、国が決定(県に裁量なし)

市場公募債の発行実績・計画

資金調達の多様化を図るため、今後も個別発行債、共同発行債を継続的に発行していきます。

(単位:億円)

年 度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
個別発行債	300	600	550	400	500	700	400	400	400	400
共同発行債	500	600	600	600	600	600	800	600	600	600
合 計	800	1,200	1,150	1,000	1,100	1,300	1,200	1,000	1,000	1,000

個別発行債、共同発行債:10年債

●H25年度の個別発行債については、H25/11月下旬・H25/2月下旬に発行予定

新潟県債の安全性

平成19年10月に新潟県債の格付けを取得。

格付けの内容(自国通貨建て発行体格付け)

A a 3 : アウトルック:安定的 (平成23年8月格付け見直し)

格付け会社

ムーディーズ・ジャパン(株)

格付けの主な評価ポイント

- 本県の臨時財政対策債以外の債務残高は既にピークアウトしており、引き続き健全化を進める慎重な財政運営を維持していることから、財政状況は改善状況を維持できると評価していること。
- 度重なる自然災害による県財政・地域経済への影響はあるものの、災害復旧に係る国の支援により県の実質的な負担は緩和されていること。
- 国による地方財政の監視及び財政調整制度などの制度的枠組みが、地方自治体の信用力を支えていること。

○本日、ご説明いたしました将来の見通し・予測は、新潟県として、現時点で妥当と考えられる範囲で示したものであり、確実な実現を約束するものではありません。

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

新潟県 総務管理部 財政課 資金・決算

TEL 025-280-5038

FAX 025-280-5077

Eメール ngt010040@pref.niigata.lg.jp



新 潟 県